



日本共産党
西宮市議会議員

2019年10月7日発行
【共産党議員団控室】六湛寺町10番3号
(TEL)0798-35-3368 (FAX)0798-22-7815
(携帯)090-7764-0743

ひぐち光冬 みつ ふゆ 通信 Vol. 20

不登校児を「不^{みつ}適^{ふゆ}応」とは言わせない

9月25・26日、西宮市議会では決算特別委員会の教育こども分科会が開催されました。決算特別委員会というのは、「前年度（2018年度）の決算（事業）を振り返り、今後の市政に生かしていくための議論を行う場」です。私はこの委員会で待機児童の問題や障害児の特別支援教育などについて意見をしましたが、特に「不登校支援」について力を込めて訴えました。

西宮市立小中学校の不登校児童生徒数の推移

	2016年	2017年	2018年
小学校	115人	157人	239人
中学校	314人	397人	577人

不登校児は年々増えています（上表参照）。この不登校児の対応として西宮市は「あすなる学級」という不登校児のための教室を市内2ヶ所で開設しています。

この「あすなる学級」のカリキュラムを見てもみると、個々の子どもたちに対応できるよう柔軟に組み立てられており、本当に素晴らしいなと感心させられます。

しかしたった1点だけ残念なことが…。

それは、“**適^{みつ}応^{ふゆ}指導教室**”「あすなる学級」と名付けられていることです。それってつまりは、不登校児は「不^{みつ}適^{ふゆ}応」って言っているのと同じじゃないですか。でもそれは違うはずですよ。不登校は子どもたちに問題があるのではなく、学校のあり方に問題があるからこそ起きているからです。

そこで私は「適^{みつ}応^{ふゆ}指導教室なんていう言葉を使っている限り、子どもの側に問題があるという意識になって、いつまでも学校の改善に目が向かない。即刻この呼称をやめ、国が示している“**教育支援センター**”という呼称に改めるべきだ」と強く訴えました。

教育委員会は「協議していく」と回答。今後の動きに注目です。

9月議会ヘッドラインニュース

●市長退職金ゼロ条例が「可決」

石井市長が公約に掲げていた「退職金ゼロ条例」が可決されました。石井市長に限り、退職金はゼロになります。

●市立施設値上げ条例は「継続審査」に

公民館などの市立施設の利用料を値上げする条例案は継続審査となりました。値上げの根拠に曖昧な部分が残るなど様々な問題点があった

ため共産党市議団も継続審査を求めています。

●共産党提案の「国保意見書」が採択

市議団提案の「国保の安定運営に係る財政基盤の強化を求める意見書」が全会一致で採択されました。西宮市は国保料抑制のために頑張っていますが市だけでは限界があるため、国に対して財政基盤を強化するよう求めたものです。



何してんの？この工事…



臨港線をよく通る方はご存じかと思いますが、臨港線とえべっさん筋の交差点で現在大規模な工事が行われております。「一体何の工事をしているんだろう？」と多くの方が思われているのではないのでしょうか？

この度、後援会のみなさんと共に現地調査に行き、当局の担当職員から詳しいことを聞いてきました！

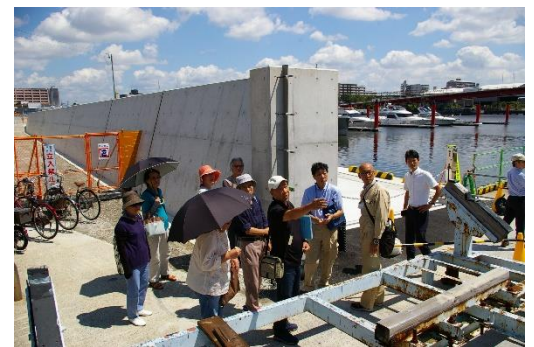


1 この交差点を北側から見ますと、川が流れていまして、交差点の下は「トンネル」のようになっています。このトンネル、実は貫通していなくて、海側は閉じられているため、流れてきた水は交差点の北西角にあるポンプ場に吸い上げられていました。

この吸い上げをやめて、川の水をそのまま海に流すために、トンネルを拡張&貫通させる工事を現在行っているのです。

2 この工事と合わせて、この交差点の南（臨港線から御前浜まで）の道の拡幅工事が行われています。下の写真に写っている防潮堤を取払い約3.5m幅の歩道が新設される予定となっています。特にこの防潮堤の取り崩しに時間がかかるようで、全行程が終了するのは2023年～24年頃になるだろうとのこと。

ちなみに、この狭い道路の拡幅を求め続けてきたのは、私の先輩である上田さち子元市議。しっかり引き継いで、よりよい環境を求めていきたいと思えます。



3 現地視察の一幕。取り崩す予定の防潮堤の内側にはすでに新しい防潮堤が！新防潮堤は高潮・津波対策で約20センチほど高く建設されています。

あなたも“かゆ～いところ”がございましたら、地域の“孫の手”ひぐち光冬まで。

090-7764-0743

mitsufuyu214@gmail.com

最近「ブログ」を頑張っています！もしよければ「ひぐち光冬のブログ」もご覧ください！

